

【緑地の樹】

キンモクセイ（金木犀）

今年はどう考えても、季節が変です。例年秋になると律儀に金木犀が香り始めます。それは大体10月1日、少し早い年でも9月の末頃です。今年もそろそろかなあ…と待っていたのに、いっこうに香ってきません、蕾もありません。夏が暑すぎたから、だめになったのかしらと諦めかけた頃、2週間以上遅れて庭先に香りが漂ってきた時のうれしさ！自然はそんなやわではないと改めて感じました。

緑地でも、公園側から入ったところの右側に、満開に咲きました。

それにしても、咲き始めると、どの木も一斉に咲くのですね。暑い夏で疲れたからもう少し休んでゆっくり咲くわ、なんていう怠け者の木はありません。だれかが指揮棒を振って、木々

モクセイ科モクセイ属の常緑小高木

に指示を与えているような。

これは、キンモクセイの木がどれもクローンで、同じ遺伝子を持っているからです。キンモクセイは雌雄異株ですが、日本には雄の木しかないそうです。

つまり、種ができずに挿し木などで増やしているから、どの木も同じ遺伝子、そして環境が同じなら、咲く時期も同じというわけなのですね。



（小川）